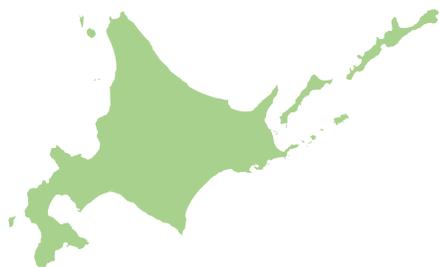


令和5年度 医療データ分析センター 分析方針（案）について



医療データ分析センター事業（概要）

医療データ分析センター運営協議会

【構成員】

道医師会（地域医療専門委員会、在宅医療小委員会の委員等）、病院団体、保険者、構想アドバイザー、医療データ分析の専門家（北大・札医大・旭医大の公衆衛生講座、東北大・藤森教授）

【事務局】

道庁（地域医療課）、北大

【協議事項】

道内の医療提供体制の現状・課題の分析や今後の施策の検討に当たり、どのようなデータ分析を行う必要があるか、専門的な協議を実施

分析方針等
の提示

医療データ分析センター

- 運営協議会で決定された方針に沿って、レセプトデータ（国保・後期高齢等）、病床機能報告データ、DPCデータ等の医療データを分析
- 地域医療専門委員会や在宅医療小委員会、各圏域の調整会議で活用可能な資料を作成
- データ集積に要するサーバーの維持費用等について、道庁が補助

分析ニーズ
の提案

道全体の議論

- 総医協（地域医療専門委員会、在宅医療小委員会等）や医対協における議論に活用

地域の議論

- 調整会議（構想）や多職種連携協議会（在宅）等における議論に活用
- 各医療機関にもフィードバックし、各々の役割・機能の検討に活用

各医療機関



分析結果
の提供

1. データ提供について
2. 地域分析について

- 地域医療構想調整会議等におけるデータを活用した議論については、これまでも行われているところだが、今後さらに進行する人口減少や医療ニーズの変化に対応していくため、効果的なデータを調整会議等へ提供し、議論を活性化させることが必要。
- 医療政策に関するデータは多様だが、地域医療構想の達成に向けた議論の活性化に向けては、機能が見えにくい各医療機関の機能の明確化（見える化）に資するデータを活用し、調整会議等において共有することが重要。
- この点を踏まえ、従来活用してきたレセプトデータによる受療動向の把握のほか、個別の医療機関の診療実績がわかるDPCの新たな活用や、病床機能報告（診療実績部分）の活用の強化を進める。

レセプトデータ

- 診療報酬明細書（レセプト）を基とした情報（患者住所地、受診した疾病、医療機関等）

病床機能報告

- 医療機能、構造設備・人員配置等
- 入院医療に関する医療の内容（幅広い手術の実績、がん等の治療実績）

DPC

（DPC導入の影響に係る調査）

- 診療報酬の包括算定を行う急性期病院の診療実績（患者件数等）

各データの特性

項目		レセプトデータ	病床機能報告	DPC
集計対象	患者別	国民健康保険・後期高齢者広域連合の被保険者	全患者	全患者
	対象医療機関	病 院 有床診療所 無床診療所	病 院 有床診療所	DPC算定病院
オープンデータ		なし (市町村等の同意のもと北海道国保連合会から提供)	あり	あり
診療実績		疾患別データとして把握可能	全身麻酔の総数、救急医療の実施状況等のレセプト件数（116項目）	18類型による主要診断群分類（MDC）別の患者数等

令和5年度 データ提供の方針（案）①

データ	令和4年度	令和5年度
レセプトデータ	<p>【全圏域提供】</p> <p>①外来・入院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受療動向 <p>圏域及び市町村別</p> <p>※国民健康保険・後期高齢者広域連合</p> <p>※協会けんぽ（協会けんぽから提供）</p> <p>【地域分析実施圏域のみ提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受療動向 <p>圏域及び市町村別、医療機関別</p>	同左
	<p>【全圏域提供】</p> <p>②在宅医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村及び地域単位別提供状況 ・医療機関別提供状況 	同左
DPC	<p>【全圏域提供】</p> <p>①MDC別患者数の経年比較</p> <p>②MDC別救急搬送数の経年比較</p> <p>③MDC別患者シェア率</p>	同左
救急搬送	救急搬送に係るデータ分析	同左

令和5年度 データ提供の方針（案）②

データ	令和4年度	令和5年度
<p>病床機能 報告</p>	<p>【全圏域提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各機能別病床数 （高度・急性・回復・慢性） ②高額医療機器の保有状況 ③定量的基準による機能別病床数 （平均在棟日数・重症度・看護必要度） ④入退院経路 ⑤医療従事者数 ⑥急性期医療機関の医療状況 （圏域及び医療機関別、経年） <ul style="list-style-type: none"> ・手術件数 ・がん、脳卒中、心筋梗塞等治療 ・重症患者への対応 ・救急医療の実施 ⑦回復期医療機関の医療の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションを実施した患者割合 ・平均リハ単位数（1患者1日当たり） 	<p>同左</p>
<p>外来機能 報告</p>	<p>—</p>	<p>今後の「地域における外来機能の役割分担」等の協議（議論）に資するデータ項目及び内容を検討 （例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関別の紹介・逆紹介率の可視化データ ・重点外来（高額医療機器等を必要とする外来など）の可視化データ 等

令和5年度の新たな取り組み

1 分析データに関するホームページの作成

【対象データ：レセプトデータ、病床機能報告、DPC】

⇒ 医療データ分析に関するホームページを作成するとともに、市町村、関係機関に周知し、保有データのより一層の地域での活用に資するものとする。

なお、地域分析資料については、取扱いに注意が必要となる事項も含まれることから、当該ホームページでの公表は行わない。

2 協会けんぽからの提供データの活用

⇒ 協会けんぽからの提供データと分析センター事業の受療動向データについて、それぞれ比較しやすい形に加工し、受療動向のより一層の見える化を図る。

1. データ分析について
2. 地域分析について

令和5年度 地域分析の方針（案）

令和3～4年度

【令和3年度_実施圏域（2圏域）】

- ①道 央：中空知
- ②オホーツク：遠紋

【令和4年度_実施圏域（6圏域）】

- ①道 南：南檜山及び北渡島檜山
- ②道 央：西胆振
- ③道 北：宗谷
- ④十 勝：十勝
- ⑤釧路根室：釧路

令和5年度

【令和5年度_実施予定圏域（7圏域）】

- ①道 南：南渡島
- ②道 央：北空知、後志
- ③道 北：上川北部、富良野
- ④オホーツク：北網
- ⑥釧路根室：根室

【選定の考え】

- ・各三次医療圏から1地域以上を選定（十勝はR4実施予定）
- ・上記を候補としつつ、今後、地域の要望なども踏まえ、実施地域を選定

【参考】令和6年度_実施予定圏域（6圏域）

- ①道央：札幌、南空知、東胆振、日高
- ②道北：上川中部、留萌

※令和6年度をもって全21圏域の地域分析が完了

(参考) 地域分析の流れ (作成～提供)

データ作成

- 医療分析センター(北大)によるデータ作成(案)

事前確認

- 該当圏域構想調整会議事務局による確認 (作成データと地域の実情に大きな差分がないか) ※調整会議事務局は、必要に応じ調整会議議長とも調整

意見照会

- 地域医療構想アドバイザーへの意見照会

提供

- 該当圏域構想調整会議事務局に最終版データを提供